

徳島経済レポート

No.434 2020. 9. 3

公益財団法人 徳島経済研究所

最近の県内景況

景気は一部に持ち直しの動きがみられるものの、
厳しい状況が続いている

概況

最近の県内景況は、個人消費の一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、鉱工業生産が低迷しているほか、雇用情勢も総じて弱い動きとなっているなど、厳しい状況が続いている。

鉱工業生産(6月)をみると、季節調整済指数は86.4で前月に比べ1.3%低下、前年比(原指数)は13.4%低下した。季節調整済指数は、ウエイトの大きい化学のほか、プラスチック製品、輸送機械、パルプ・紙・紙加工品などが前月を上回った一方、金属製品やはん用・生産用・業務用機械、電気機械などが下回った。一部で減産を余儀なくされている企業がみられるなど、企業の生産動向は厳しい状況にある。

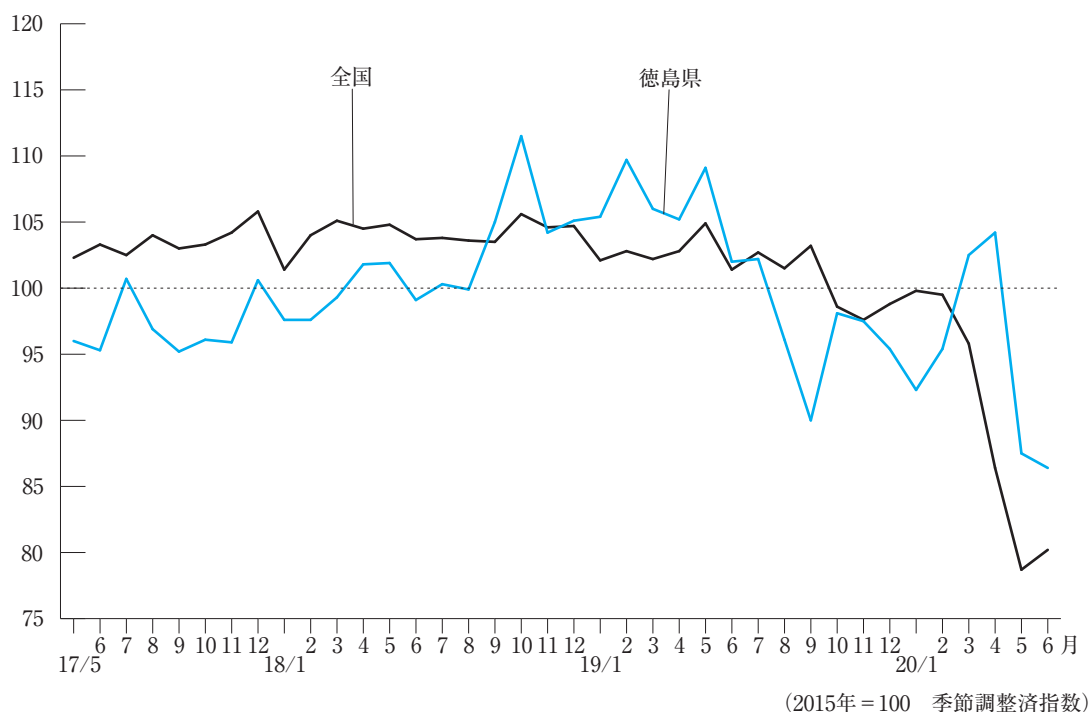
大型小売店・専門量販店販売額(7月)をみると、前年より梅雨明けが遅かったことや県内での新型コロナウイルス感染者が相次いで確認された影響などから客数が伸び悩んだ一方、一人10万円の特別定額給付金支給や祝日が前年に比べ1日多かった効果がみられる中、百貨店の閉店前のセールによる押し上げもあって、食料品や身の回り品・雑貨、家電製品などに動きがみられた。加えて、総合ディスカウントストアなどの新規出店効果がみられたことから、全体として売上げは前年を上回った。旅行(7月)は、国内旅行は引き続き都道府県を跨ぐ移動に慎重な動きがみられ、著しく下回って推移し、海外旅行は渡航制限等により取り扱いのない状況が続いている。自動車販売(7月)は、登録車、軽自動車ともに減少し、登録台数(含む軽)は2,176台で前年比10.8%減となった。

新設住宅着工戸数(7月)は、持家が前年比13.5%減、貸家が同69.3%増、分譲が同8.7%減となり、総戸数は同8.4%増の349戸となった。公共工事請負金額(7月)は、「国」が前年比31.9%減となった一方、「県」が前年比78.3%増、「市町村」が同57.1%増、「独立行政法人等」が同15.1%増となり、全体でも同28.4%増の138億41百万円となった。

雇用関連指標をみると、有効求人倍率(7月、季節調整済)は、前月比0.02ポイント上昇して1.12倍となった。また、雇用保険受給資格決定件数(7月)は前年比10.3%増加した。

企業倒産(7月)は、件数3件、負債総額は4億26百万円であった。

鉱工業生産指数（徳島県、全国）



徳島県（6月）

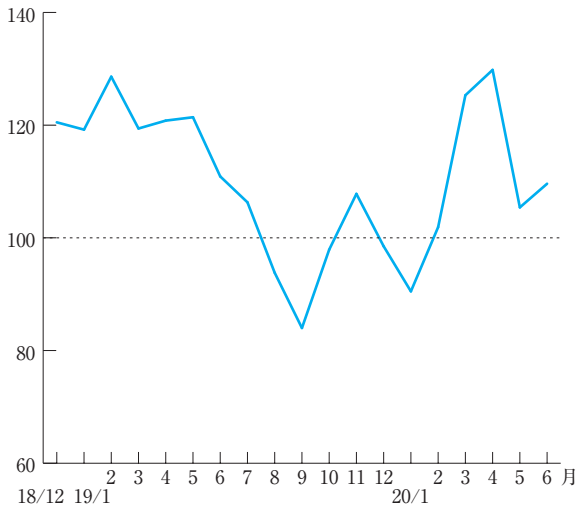
徳島県の6月（速報値）の鉱工業生産指数は、86.4（季節調整済）で前月比1.3%低下、原指数は87.0で前年比13.4%低下となった。

季節調整済指数の内訳を見ると、前月比で上昇したのは全15業種のうち8業種で、プラスチック製品（38.4%増）、輸送機械（20.0%増）、パルプ・紙・紙加工品（7.5%増）、化学（4.0%増）など。一方、低下した業種は、金属製品（32.1%減）、はん用・生産用・業務用機械（16.4%減）、電気機械（14.7%減）など。

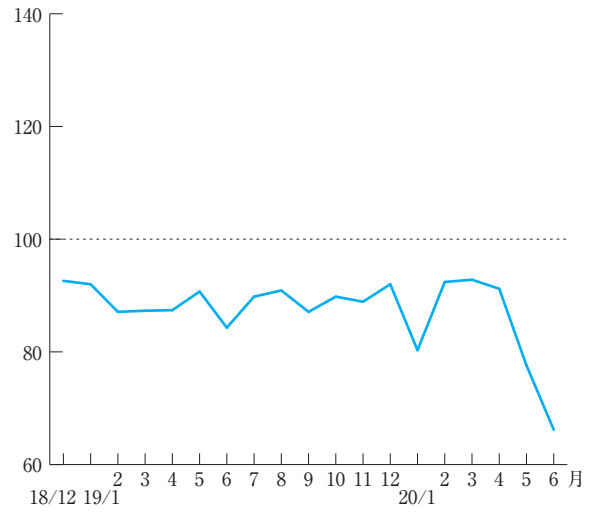
原指数の内訳をみると、前年比で上昇したのは全15業種のうち2業種で、鉱業（23.4%増）、その他の工業（17.4%増）。一方、低下した業種は、金属製品（54.9%減）、はん用・生産用・業務用機械（54.7%減）、パルプ・紙・紙加工品（23.3%減）、電気機械（17.8%減）、プラスチック製品（10.1%減）、化学（0.5%減）など。

業種別鉱工業生産指数 (カッコ内数字は、全体を10,000としたウエイト) (2015年=100 季節調整済指数)

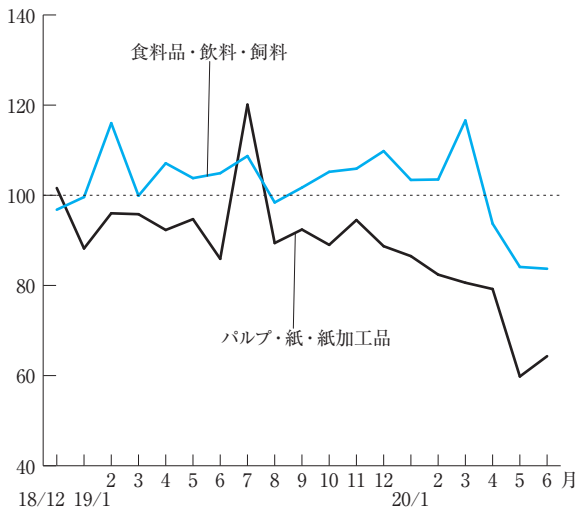
化学 (3,681.0)



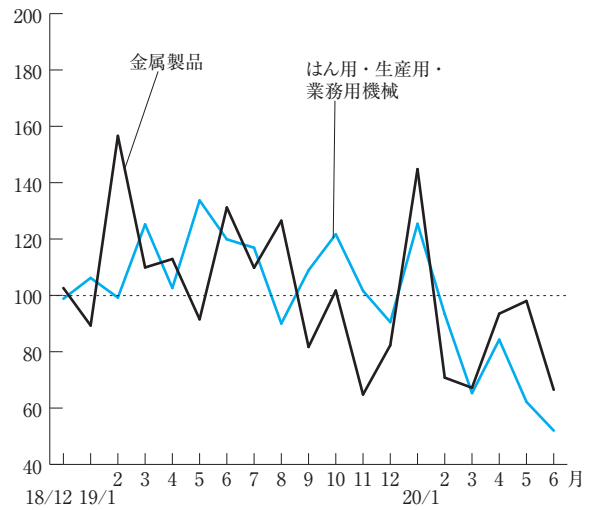
電気機械 (2,888.8)



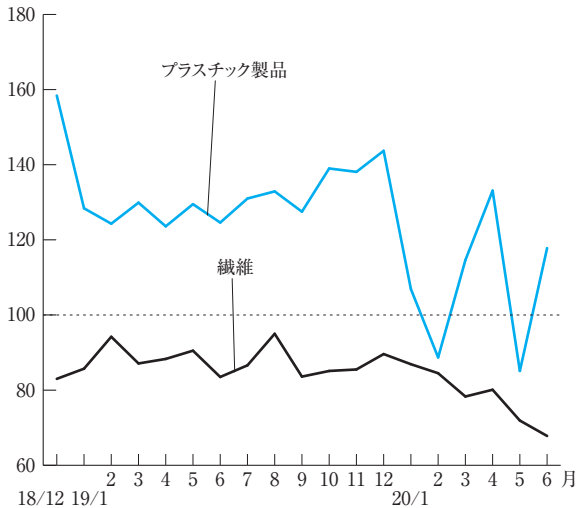
食料品・飲料・飼料 (703.4)
パルプ・紙・紙加工品 (516.2)



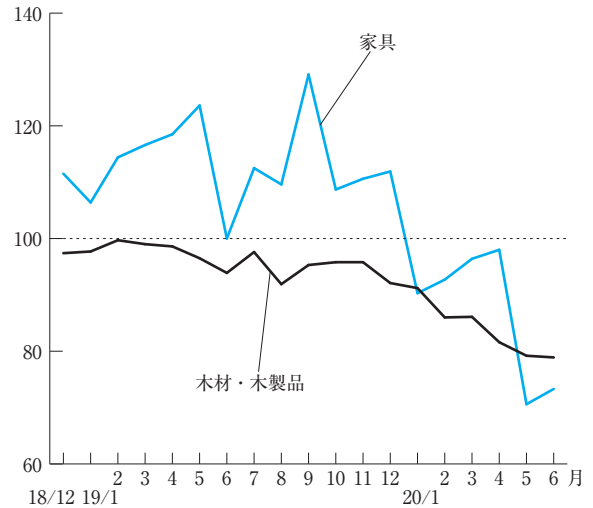
はん用・生産用・業務用機械 (558.7)
金属製品 (309.7)



プラスチック製品 (247.0)、繊維製品 (99.3)

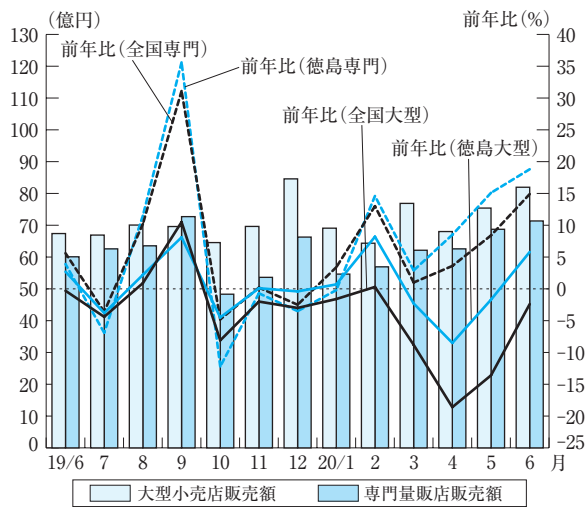


木材・木製品 (157.8)、家具 (134.9)



資料：徳島県統計データ課

大型小売店・専門量販店販売額



資料：四国経済産業局

まりや特別定額給付金の支給により、インターネット動画配信対応テレビや調理家電などが引き続き好調で、売上げは前年を上回った。食料品は、野菜が相場高により販売額が伸びているほか、外出を控え家庭での食事が増えていることから、身近なスーパーなどでの需要が引き続き伸び、畜産、鮮魚などが堅調で、売上げは前年を上回った。

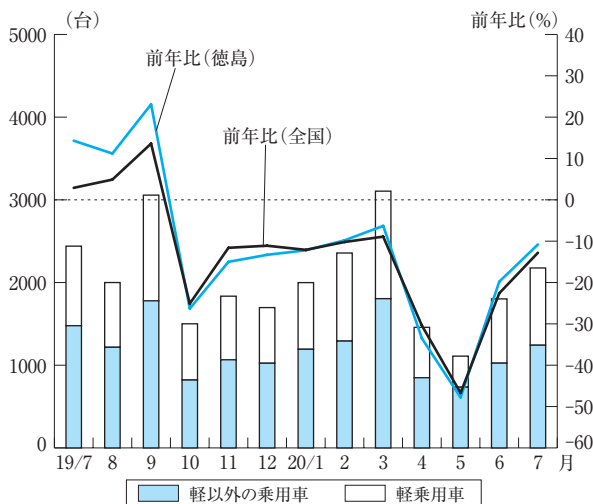
なお8月については、百貨店の閉店前のセールにより、衣料品や服飾雑貨、高額品などに動きがみられるものの、新型コロナウイルスの感染拡大や夏休みの短縮などにより、一部店舗で売上げが大幅に減少するなどの影響がみられている。

旅行業

7月の旅行需要は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、引き続き都道府県を跨ぐ移動に慎重な動きがみられ、国内旅行は前年を著しく下回って推移した。また海外旅行も、日本の渡航制限や各国の日本人に対する入国制限措置などからツアー等が催行されず、取扱いのない状況が続いており、国内・海外旅行を含む個人旅行全体の取扱高は前年を著しく下回り、極めて低い水準で推移した。なお7/22に、国内旅行の需要喚起を目的とした国の「Go Toトラベルキャンペーン」(当面の間、東京を目的地とする旅行は対象外)が実施されたが、取扱いは低調だった。

8月以降の予約状況については、国内旅行は「Go Toトラベルキャンペーン」を利用した関東(東京を除く)や沖縄方面への予約が徐々に上向きつつあるものの、引き続き都道府県を跨ぐ移動に慎重な動きがみられ、前年を著しく下回って推移している。一方海外旅行は、日本からの渡航や各国・地域における入国が引き続き制限されており、旅行商品が造成されず、予約のない状態が続いている。

自動車販売



資料：自動車販売店協会・軽自動車協会

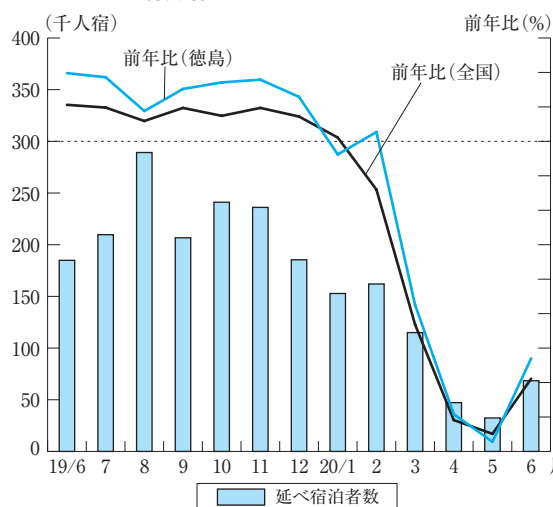
7月の小売商況は、前年より梅雨明けが遅かったことや県内での新型コロナウイルス感染者が相次いで確認された影響などから客数が伸び悩んだ一方、一人10万円の特別定額給付金支給や祝日が前年に比べ1日多かった効果がみられる中、百貨店の閉店前のセールによる押し上げもあって、食料品や身の回り品・雑貨、家電製品などに動きがみられた。加えて、総合ディスカウントストアなどの新規出店効果がみられたことから、全体として売上げは前年を上回った。

品目別の内訳をみると、衣料品は、長梅雨や不要不急の外出自粛の影響がみられたものの、百貨店の閉店前のセールが盛り上がりを見せており、売上げは前年をやや上回った。身の回り品・雑貨は、旅行用のバッグが低調の反面、アウトドア関連用品や家具、寝具のほか、除菌関連の衛生用品、ドラッグなどが堅調で、売上げは前年を上回った。家電は、巣ごもり消費の高

7月の自動車販売は、登録台数(含む軽)は前年比10.8%減の2,176台となった。

内訳をみると、普通車は619台で前年比24.3%減、中小型車(5ナンバー・1500cc超)は24台で同31.4%減、大衆車(1500cc以下)は599台で同4.2%減となり、登録車合計は1,242台で同16.0%減となった。また、軽自動車は934台で同2.9%減であった。

ホテル・旅館



資料：国土交通省「宿泊旅行統計」(全宿泊施設)

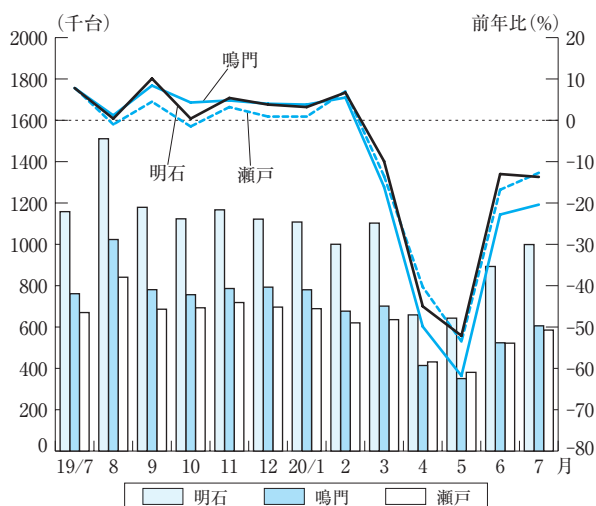
7月の徳島市内の主要ホテル・旅館業をみると、ビジネス需要が大幅な落ち込みから徐々に戻りつつあることに加え、下旬にはGo Toトラベルキャンペーンが開始されるなど観光需要にも動きが見られ、稼働率は前年を大きく下回って推移しているものの、落ち込み幅はやや鈍化した。

宴会・飲食部門は、会議・会合の中止や延期、宴席の自粛などにより、引き続き売上げが大幅減となるなど極めて厳しい状況が続いている。

なお8月については、県や市町村が実施する宿泊キャンペーンやGo Toトラベルキャンペーンの効果が見られるものの、阿波踊り中止の影響は大きく、売上げ・稼働率ともに前年を大きく下回って推移しており、厳しい状況が続いている。

(宿泊旅行統計【全宿泊施設】をみると、6月の徳島県の延べ宿泊者数(第2次速報)は68千人泊で、前年比63.0%減(全国平均は同68.9%減)。なお2020年1月～6月の徳島県延べ宿泊者数累計は578千人泊で、前年比51.9%減(全国平均は同52.2%減)となった。)

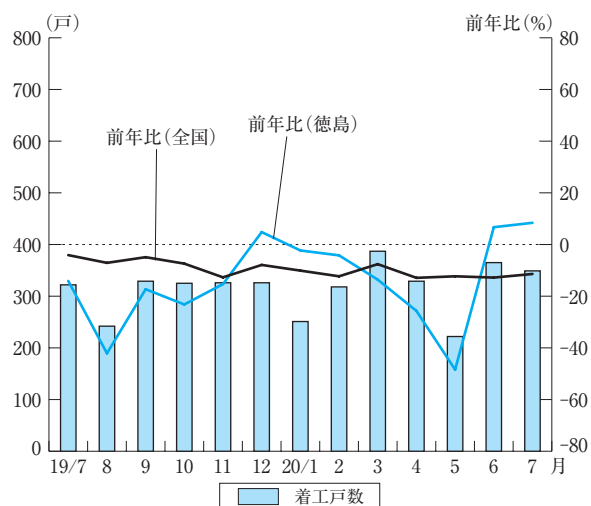
本州四国連絡道路交通量



資料：本州四国連絡高速道路

7月の本州四国連絡道路の交通量をみると、明石海峡大橋は前年比13.7%減、大鳴門橋は同20.4%減、瀬戸大橋は同12.7%減となった。(2020年4月～7月の交通量累計は、明石海峡大橋、大鳴門橋、瀬戸大橋の順に、前年比32.4%減、同40.5%減、同32.4%減)

住宅投資

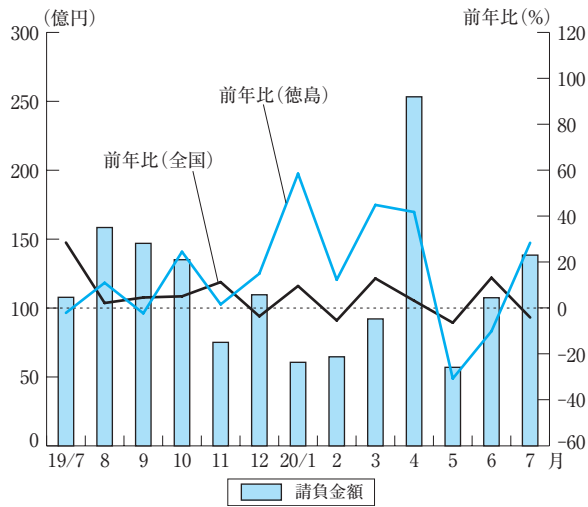


資料：国土交通省

7月の新設住宅着工戸数をみると、総戸数は前年比8.4%増の349戸となった。

利用関係別では、持家は前年比13.5%減の179戸、貸家は同69.3%増の149戸、分譲は同8.7%減の21戸であった。総床面積は32,942㎡で、同2.8%増加した。

公共工事

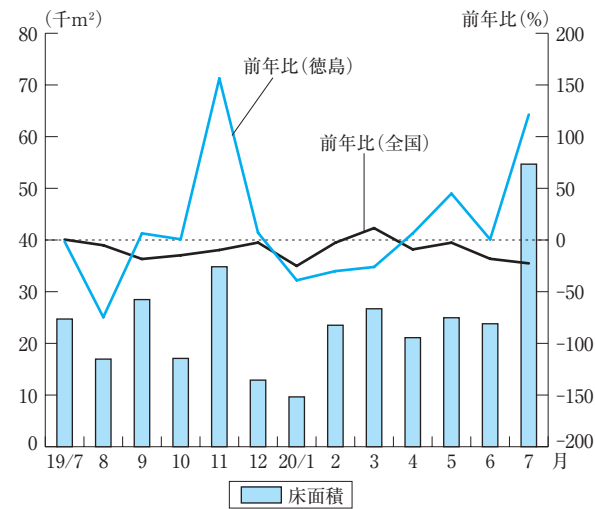


資料：西日本建設業保証(株)

7月の公共工事（西日本建設業保証徳島支店調べ）をみると、請負件数は、前年比23.4%増の486件、請負金額は同28.4%増の138億41百万円となった。

発注者別にみると、「県」は66億15百万円で前年比78.3%増、「市町村」は47億51百万円で同57.1%増、「国」は22億19百万円で同31.9%減、「独立行政法人等」が2億14百万円で同15.1%増となった。

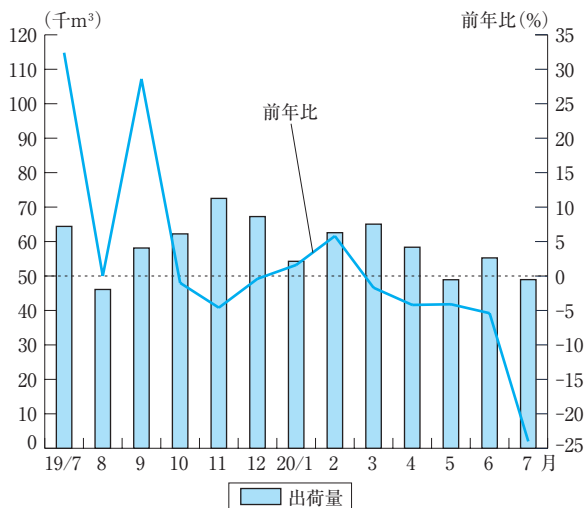
非居住用建築着工床面積



資料：国土交通省

7月の非居住用建築着工床面積（店舗、工場等）は、前年比121.3%増の54,679㎡で、工事費予定額は同151.0%増の90億85百万円となった。

生コン出荷量

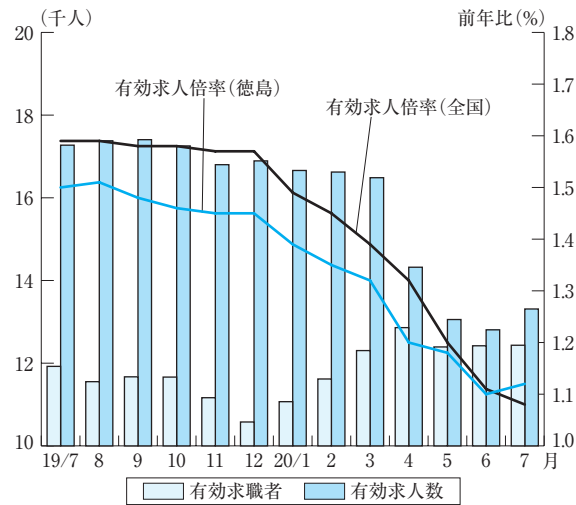


資料：徳島県生コンクリート工業組合

7月の生コン出荷量（徳島県生コンクリート工業組合出荷速報）は49千立方メートル、前年比24.0%減となった。

民需は17千立方メートルで前年比31.9%減、官公需は32千立方メートルで同19.2%減となっている。

雇用関連 (求人)



資料：徳島労働局

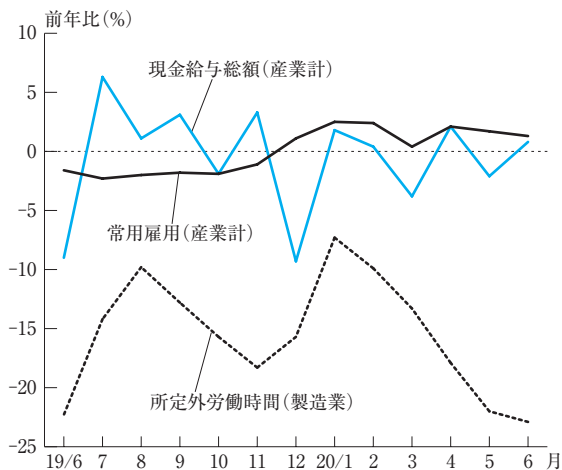
7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.12倍で前月比0.02ポイント上昇した。原数値は、1.07倍で前年比0.38ポイント低下。有効求職者数は12,434人で前年比4.3%増加、有効求人数は13,311人で同22.9%減少した。

新規求人数(一般。パートを除く)は3,047人で前年比23.3%減少、パートの新規求人は1,839人で同33.9%減少した。

内訳をみると、医療・福祉、サービス業、卸売業・小売業などで減少が目立った。

なお、7月の雇用保険受給資格決定件数は前年比10.3%増加した。

雇用関連 (勤労統計)

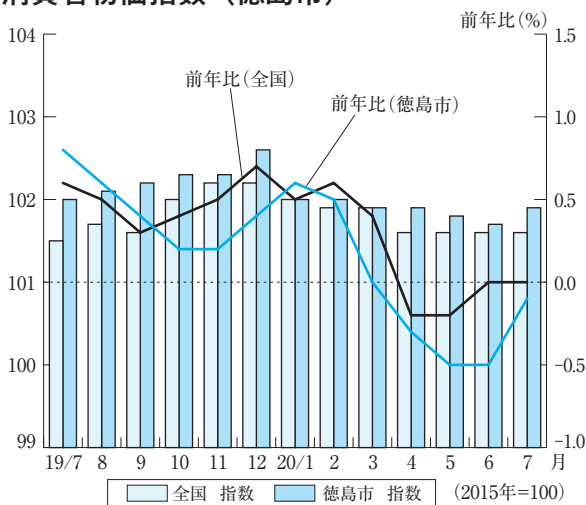


資料：徳島県統計データ課

6月の毎月勤労統計(5人以上の事業所)によれば、常用雇用指数(産業計)は102.9で前年比1.3%上昇、現金給与総額指数(産業計)は123.7で同0.8%上昇、所定外労働時間指数(製造業)は63.5で同22.9%低下となった。

(指数：2015年=100)

消費者物価指数 (徳島市)



※「生鮮食品を除く総合」の数値をグラフ化

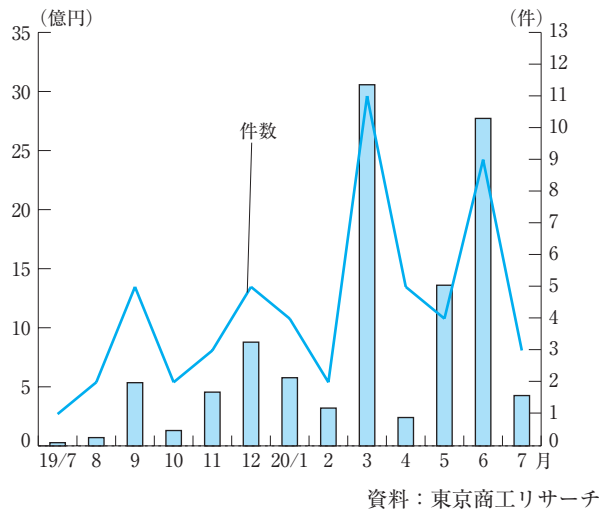
資料：総務省

7月の消費者物価指数は、102.3で前年比0.2%上昇(前月比0.3%上昇)、生鮮食品を除く総合は101.9で同0.1%低下(同0.2%上昇)であった。

費目別にみると、前年比低下した費目は、教育(△3.8%)、交通・通信(△1.5%)、光熱・水道(△1.5%)など。一方、上昇した費目は、家具・家事用品(5.2%)、教養娯楽(2.4%)、食料(2.1%)などでの伸びが目立っている。

(指数：2015年=100)

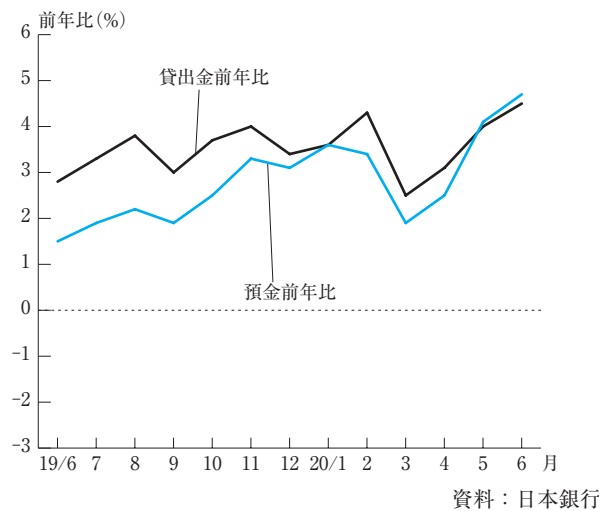
企業倒産



7月の企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額1千万円以上）をみると、3件で負債総額は4億26百万円であった。業種別では、製造業、卸売業、小売業が各1件だった。

帝国データバンクの調査（負債総額1千万円以上、法的整理による倒産）では、4件で負債総額は3億83百万円であった。

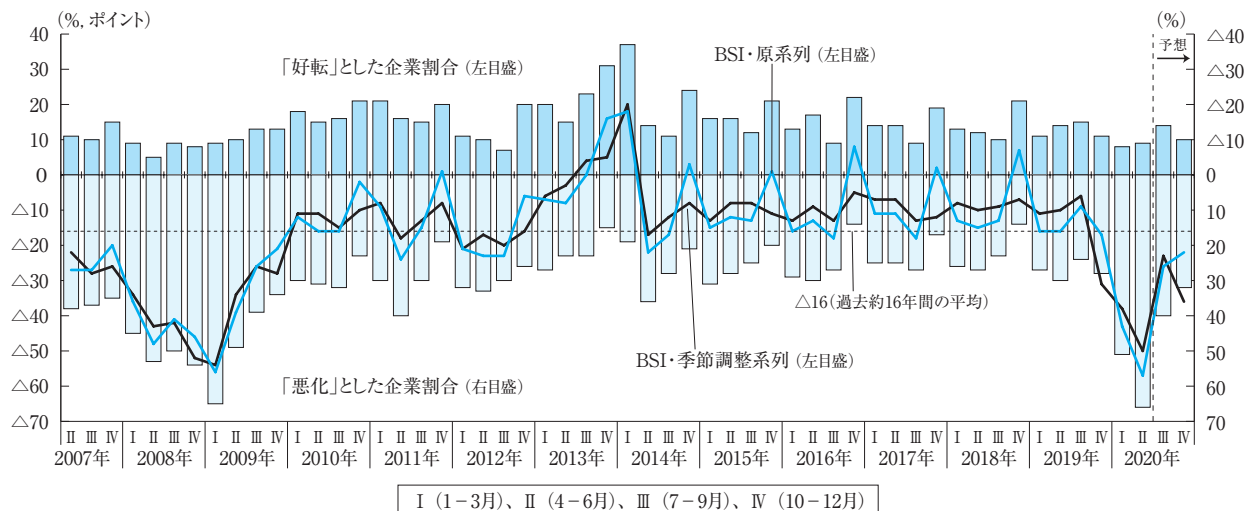
金融



6月の民間金融機関貸出残高は、日本銀行徳島事務所によると、全体では前年比4.5%増となり、60ヵ月連続で前年を上回った。この間、貸出約定平均金利は、前月比低下した（5月末1.221%→6月末1.213%、国内銀行ベース）。

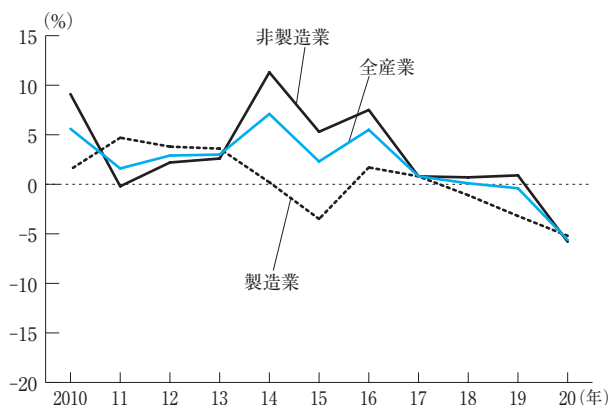
預金については、前年比4.7%増となり、15ヵ月連続で前年を上回った。

業況判断 B S I (徳島経済研究所調査)



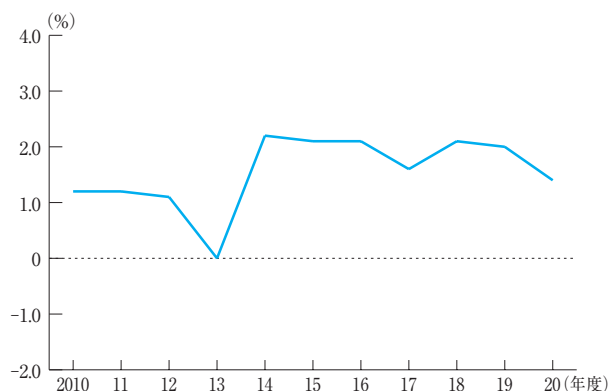
2020年4～6月期(前期→当期:△38→△50)の業況判断 BSI (季節調整値)は大幅に悪化し、リーマンショック当時に次ぐ低さとなった。また、前回調査時の予想(△46)と比べても悪化している。新型コロナウイルスの感染拡大が影響を及ぼす中、先行き7～9月期の予想は△23と改善する見通しだが、続く10～12月期は△36と再び悪化する見通しである。(詳細は2020年8月の「第142回企業経営動向調査」参照)

ボーナス支給動向 (同)



県内民間企業の2020年夏季ボーナス支給に関するアンケート調査によれば、平均ボーナス支給額は360,900円で、前年同期の382,500円に比べ支給額△21,600円、増減率△5.6% (前年同調査増減率△0.4%)と、2年連続で前年を下回り、減少幅は拡大した。業種別では、製造業が△5.2%、非製造業が△5.8%とともに減少した。(詳細は2020年8月の「経済トピックス No.134」参照)

賃上げ動向 (同)



県内民間企業の賃上げ動向に関するアンケート調査によると、2020年度の全産業の賃上げ額は+3,900円(前年同調査+5,500円)、賃上げ率は+1.4% (同+2.0%)と、2017年以来3年ぶりに1%台となり、増勢は鈍化した。(詳細は2020年8月の「経済トピックス No.134」参照)

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数 2015年=100													
	鉱工業総合		金属製品		はん用・生産用・業務用機械		電気機械		化学		プラスチック製品		パルプ・紙・紙加工品	
	10000	前年比 %	wt.309.7	前年比 %	wt.558.7	前年比 %	wt.2888.8	前年比 %	wt.3681.0	前年比 %	wt.247.0	前年比 %	wt.516.2	前年比 %
2015年	100.0	2.8	100.0	2.2	100.0	△ 9.1	100.0	△ 2.2	100.0	14.2	100.0	△ 8.9	100.0	0.1
2016年	97.8	△ 2.2	105.1	5.1	88.9	△ 11.1	96.4	△ 3.6	97.0	△ 3.0	111.3	11.3	95.7	△ 4.3
2017年	98.4	0.6	88.4	△ 15.9	96.7	8.8	94.4	△ 2.1	101.9	5.1	121.0	8.7	94.3	△ 1.5
2018年	102.0	3.7	100.7	13.9	101.8	5.3	88.8	△ 5.9	111.2	9.1	151.9	25.5	97.1	3.0
2019年	101.3	△ 0.7	104.9	4.2	112.8	10.8	89.1	0.3	109.7	△ 1.3	132.5	△ 12.8	94.0	△ 3.2
2019.4	105.2	5.0	112.9	△ 34.9	102.6	4.8	87.4	1.3	120.8	16.6	123.6	△ 23.1	92.3	△ 3.4
5	109.1	7.5	91.5	0.1	133.7	72.3	90.7	9.7	121.4	5.9	129.5	△ 9.2	94.7	0.6
6	102.0	0.4	131.2	49.9	119.9	14.3	84.3	△ 4.3	110.9	3.4	124.6	△ 22.4	85.9	△ 13.6
7	102.2	4.4	109.8	26.8	116.9	20.5	89.8	6.5	106.3	△ 1.8	131.0	△ 1.1	120.1	23.7
8	96.1	△ 8.0	126.5	71.3	90.0	△ 13.9	90.9	4.0	93.8	△ 17.9	132.9	△ 12.0	89.4	△ 10.1
9	90.0	△ 14.6	81.7	△ 44.0	108.9	16.7	87.1	0.2	84.0	△ 30.8	127.5	△ 15.0	92.4	△ 4.5
10	98.1	△ 10.5	101.7	24.0	121.7	11.6	89.8	△ 5.7	97.9	△ 22.1	139.0	△ 5.8	89.0	△ 8.6
11	97.5	△ 8.9	64.8	△ 38.5	101.6	△ 9.3	88.9	△ 5.1	107.8	△ 14.0	138.1	1.6	94.5	△ 2.7
12	95.4	△ 6.5	82.3	△ 30.8	90.5	△ 18.9	92.0	4.0	98.5	△ 13.2	143.7	△ 9.4	88.7	△ 14.4
2020.1	92.3	△ 12.4	144.8	62.1	125.4	18.1	80.3	△ 12.7	90.5	△ 24.1	106.9	△ 16.7	86.5	△ 2.0
2	95.4	△ 10.7	70.8	△ 51.0	93.3	2.2	92.4	8.3	101.9	△ 17.0	88.7	△ 21.2	82.4	△ 11.1
3	102.5	△ 2.3	67.2	△ 42.3	65.3	△ 46.7	92.8	8.8	125.3	5.3	114.6	△ 14.0	80.6	△ 14.8
4	104.2	△ 0.8	93.5	△ 17.4	84.3	△ 22.9	91.2	4.2	129.8	5.9	133.1	2.8	79.2	△ 15.0
5	87.5	△ 20.7	98.0	19.8	62.2	△ 58.2	77.6	△ 18.5	105.4	△ 15.0	85.1	△ 34.0	59.8	△ 38.9
6	86.4	△ 13.4	66.5	△ 54.9	52.0	△ 54.7	66.2	△ 17.8	109.6	△ 0.5	117.8	△ 10.1	64.3	△ 23.3
7														
資料出所	徳島県統計データ課													

(注) 鉱工業生産指数は季節調整済。前年比は原指数比較。年度は原指数。

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数						百貨店・スーパー販売額		専門量販店			コンビニエンスストア
	繊維		食料品・飲料・飼料		木材・木製品		販売額		家電大型	ドラッグストア	ホームセンター	
	wt.99.3	前年比 %	wt.703.4	前年比 %	wt.157.8	前年比 %	百万円	前年比 %	前年比 %	前年比 %	前年比 %	前年比 %
2015年	100.0	5.2	100.0	△ 8.3	100.0	△ 1.2	74,793	2.8	△ 7.5	5.3	△ 1.4	—
2016年	102.0	2.0	103.8	3.8	103.8	3.8	74,736	△ 0.1	△ 2.9	3.8	△ 0.4	—
2017年	96.6	△ 5.3	101.6	△ 2.1	105.7	1.8	78,147	4.6	△ 2.5	3.9	△ 0.6	—
2018年	86.5	△ 10.5	105.0	3.3	98.2	△ 7.1	81,139	3.8	△ 0.8	4.3	4.2	—
2019年	87.6	1.3	104.9	△ 0.1	96.0	△ 2.2	82,076	1.2	0.7	6.4	△ 0.5	—
2019.4	88.3	1.4	107.1	5.2	98.6	1.8	6,472	1.3	△ 2.3	6.0	△ 5.5	2.4
5	90.5	9.8	103.8	△ 3.0	96.5	△ 4.6	6,677	3.2	6.9	7.5	3.2	2.9
6	83.5	△ 4.9	104.9	3.6	93.9	△ 4.3	6,739	2.7	1.2	7.8	△ 1.3	1.8
7	86.6	5.3	108.7	4.7	97.6	1.5	6,691	△ 3.8	△ 18.2	1.8	△ 7.7	△ 2.6
8	95.0	16.0	98.4	△ 15.2	91.9	△ 9.8	7,006	2.2	24.8	7.1	6.4	0.3
9	83.6	1.0	101.7	△ 3.4	95.3	0.9	6,960	8.1	62.9	30.2	17.1	△ 1.3
10	85.1	△ 2.0	105.2	△ 0.7	95.8	△ 0.6	6,455	△ 4.5	△ 23.9	△ 5.8	△ 14.8	3.1
11	85.5	△ 3.1	105.9	9.8	95.8	1.5	6,963	0.1	△ 7.9	3.6	△ 1.9	1.5
12	89.6	10.2	109.8	17.0	92.1	△ 4.8	8,458	△ 0.4	△ 12.6	2.0	△ 2.3	0.3
2020.1	86.9	1.5	103.4	3.8	91.2	△ 6.6	6,908	0.7	△ 6.6	2.6	1.9	△ 0.4
2	84.5	△ 8.8	103.5	△ 10.0	86.0	△ 11.9	6,435	8.2	7.6	19.0	11.8	2.5
3	78.3	△ 8.7	116.6	19.7	86.1	△ 11.8	7,687	△ 2.3	△ 5.9	6.0	7.5	△ 6.7
4	80.1	△ 8.6	93.7	△ 11.8	81.6	△ 16.9	6,802	△ 8.5	△ 1.2	13.2	7.8	△ 10.8
5	71.9	△ 22.4	84.1	△ 22.1	79.2	△ 19.9	7,540	△ 1.7	18.6	11.1	20.0	△ 10.6
6	67.8	△ 16.2	83.7	△ 16.3	78.9	△ 13.6	8,195	5.8	34.1	9.2	22.4	△ 5.4
7												
資料出所	徳島県統計データ課						四国経済産業局					

(注) 「百貨店・スーパー販売額」の対前年比増減率は、2020年3月から、調査先の見直しに伴いギャップを調整するリンク係数で処理した数値で算出。

摘要 年月	新車登録車数		新車届出車数		新設住宅着工				公共工事保証請負			
	乗用車 台	前年比 %	軽乗用車 台	前年比 %	総数		持家	貸家	総面積 m ²	件数 件	金額 百万円	前年比 %
					総戸数 戸	前年比 %	前年比 %	前年比 %				
	台	%	台	%	戸	%	%	%	m ²	件	百万円	%
2015年	14,802	△ 6.7	11,408	△ 22.7	3,802	△ 5.5	△ 0.1	△ 12.4	369,116	3,797	117,601	△ 7.2
2016年	15,481	4.6	10,102	△ 11.4	4,506	18.5	7.9	32.4	413,560	3,606	126,296	7.4
2017年	16,292	5.2	10,492	3.9	4,859	7.8	△ 1.8	15.9	427,925	3,551	121,862	△ 3.5
2018年	15,982	△ 1.9	10,914	4.0	4,335	△ 10.8	△ 3.9	△ 17.8	393,645	3,880	115,008	△ 5.6
2019年	16,005	0.1	10,963	0.4	4,122	△ 4.9	5.4	△ 13.8	373,621	3,943	133,076	15.7
2019. 4	1,240	9.3	952	△ 0.5	443	65.9	37.5	15.7	44,553	443	17,857	15.7
5	1,221	15.3	906	14.4	430	18.8	1.1	38.8	32,776	214	8,221	29.7
6	1,339	10.2	909	3.5	342	△ 14.7	26.1	△ 49.1	32,773	274	11,951	30.0
7	1,478	18.4	962	8.5	322	△ 14.1	38.0	△ 56.4	32,035	394	10,780	△ 2.1
8	1,217	13.2	783	8.1	242	△ 42.1	△ 19.2	△ 52.9	23,517	361	15,844	11.0
9	1,779	20.0	1,278	27.8	329	△ 17.3	△ 13.5	△ 15.4	28,416	460	14,695	△ 2.3
10	821	△ 30.7	680	△ 20.2	325	△ 23.2	△ 2.1	12.9	29,681	480	13,508	24.5
11	1,066	△ 20.0	769	△ 7.1	326	△ 15.3	△ 10.2	△ 18.2	28,075	319	7,512	1.6
12	1,024	△ 16.9	673	△ 7.3	326	4.8	3.5	△ 2.5	30,387	308	10,964	15.0
2020. 1	1,193	△ 11.8	806	△ 12.9	251	△ 2.3	△ 39.7	126.3	21,784	234	6,063	58.5
2	1,292	△ 14.7	1,065	△ 4.0	318	△ 4.2	6.9	△ 69.3	33,228	162	6,463	12.3
3	1,805	△ 11.1	1,300	1.2	387	△ 13.6	△ 5.3	△ 56.7	35,563	294	9,212	44.9
4	849	△ 31.5	609	△ 36.0	329	△ 25.7	△ 24.4	39.5	30,878	456	25,328	41.8
5	735	△ 39.8	375	△ 58.6	222	△ 48.4	△ 35.9	△ 63.5	21,785	175	5,700	△ 30.7
6	1,025	△ 23.5	777	△ 14.5	365	6.7	0.5	△ 49.1	37,626	291	10,749	△ 10.1
7	1,242	△ 16.0	934	△ 2.9	349	8.4	△ 13.5	69.3	32,942	486	13,841	28.4
資料出所	自動車販売店協会		軽自動車協会		国土交通省				西日本建設保証(株)			

(注) 公共工事保証請負金額は年度。

摘要 年月	消費者物価指数 (総合、徳島市)		家計消費支出(勤労者) (徳島市)		雇用市場						常用雇用指数 (産業計)	
	生鮮食品を 除く総合	前年比 %	消費支出 円	前年比 %	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		2015年 =100	前年比 %
					人	前年比 %	人	前年比 %	倍	ポイント		
	2015年=100	%	円	%	人	%	人	%	倍	ポイント	=100	%
2015年	100.0	0.7	309,604	△ 12.0	12,255	△ 9.0	14,815	1.1	1.21	0.12	100.0	1.1
2016年	100.0	0.0	318,041	2.7	12,033	△ 1.8	16,257	9.7	1.35	0.14	101.0	0.9
2017年	100.5	0.5	296,288	△ 6.8	11,819	△ 1.8	16,634	2.3	1.41	0.06	100.8	△ 0.2
2018年	101.4	1.0	332,595	12.3	11,531	△ 2.4	17,037	2.4	1.48	0.07	102.7	1.9
2019年	102.1	0.6	324,192	△ 2.5	11,745	1.9	17,048	0.1	1.45	△ 0.03	101.3	△ 1.4
2019. 4	102.2	1.0	359,374	18.7	12,697	△ 0.2	17,828	5.8	1.53	0.01	101.7	△ 1.4
5	102.3	1.1	341,548	23.6	12,599	1.2	16,968	5.5	1.52	△ 0.01	101.7	△ 1.3
6	102.2	1.0	334,880	12.5	12,095	1.2	17,006	5.1	1.51	△ 0.01	101.6	△ 1.6
7	102.0	0.8	378,542	19.5	11,923	3.2	17,273	6.4	1.50	△ 0.01	100.7	△ 2.3
8	102.1	0.6	305,535	△ 25.0	11,553	1.1	17,379	5.9	1.51	0.01	100.6	△ 2.0
9	102.2	0.4	371,968	5.3	11,670	4.1	17,406	5.7	1.48	△ 0.03	100.9	△ 1.8
10	102.3	0.2	280,553	△ 21.5	11,664	1.3	17,255	△ 1.3	1.46	△ 0.02	100.7	△ 1.9
11	102.3	0.2	280,153	△ 8.5	11,165	0.1	16,801	△ 2.6	1.45	△ 0.01	101.8	△ 1.1
12	102.6	0.4	312,393	0.5	10,578	0.2	16,893	△ 1.4	1.45	0.00	101.9	1.1
2020. 1	102.0	0.6	309,430	△ 5.6	11,069	2.6	16,661	△ 5.3	1.39	△ 0.06	104.1	2.5
2	102.0	0.5	280,741	9.8	11,618	3.3	16,623	△ 9.7	1.35	△ 0.21	103.6	2.4
3	101.9	0.0	307,403	△ 10.1	12,305	4.2	16,486	△ 10.2	1.32	△ 0.22	101.6	0.4
4	101.9	△ 0.3	262,972	△ 26.8	12,860	1.3	14,321	△ 19.7	1.20	△ 0.29	103.8	2.1
5	101.8	△ 0.5	269,300	△ 21.2	12,393	△ 1.6	13,056	△ 23.1	1.18	△ 0.30	103.4	1.7
6	101.7	△ 0.5	313,472	△ 6.4	12,421	2.7	12,807	△ 24.7	1.10	△ 0.38	102.9	1.3
7	101.9	△ 0.1			12,434	4.3	13,311	△ 22.9	1.12	△ 0.38		
資料出所	総務省				徳島労働局職業安定課						徳島県統計データ課	

(注) 家計消費支出は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の一世帯あたり平均。

(注) 有効求職者数、有効求人数、有効求人倍率は年度平均。

(注) 有効求人倍率は季節調整値、同前年比は原指数による。

(注) 常用雇用は、5人以上の事業所。

摘要 年月	所定外労働時間指数 (製造業)		現金給与総額指数 (産業計)		延べ宿泊者数 (全宿泊施設)		本州四国連絡 道路交通量		金融関連		
	2015年 =100	前年比 %	2015年 =100	前年比 %	千人泊	前年比 %	大鳴門橋	前年比	実質預金	貸出金	貸出約定 平均金利
									前年比	前年比	年利%
2015年	100.0	△ 1.3	100.0	0.2	2,314.9	△ 19.3	8,945	3.7	1.4	2.4	1.697
2016年	99.0	△ 1.0	100.2	0.2	2,383.1	2.9	9,059	1.3	0.8	1.1	1.590
2017年	105.5	6.6	98.9	△ 1.3	2,298.2	△ 3.6	9,119	0.7	3.1	4.2	1.455
2018年	103.0	△ 2.4	100.1	1.2	2,224.0	△ 3.2	9,173	0.6	△ 0.2	3.4	1.344
2019年	88.1	△ 14.5	99.1	△ 1.0	2,374.0	6.7	9,482	3.4	3.1	3.4	1.252
2019.4	94.6	△ 13.6	84.4	△ 3.3	215.0	10.6	827	6.7	0.5	2.7	1.310
5	85.8	△ 13.0	85.5	1.8	241.0	15.1	918	9.5	1.7	3.0	1.303
6	82.4	△ 22.3	122.7	△ 9.0	148.9	△ 3.5	678	3.4	1.5	2.8	1.292
7	81.8	△ 14.2	126.9	6.3	189.7	7.2	761	7.8	1.9	3.3	1.282
8	86.5	△ 9.8	85.8	1.1	275.4	3.6	1,023	1.2	2.2	3.8	1.279
9	87.2	△ 12.8	86.1	3.1	189.2	5.4	781	8.4	1.9	3.0	1.277
10	87.8	△ 15.7	82.9	△ 1.9	236.4	14.8	756	4.3	2.5	3.7	1.270
11	90.5	△ 18.3	89.6	3.3	221.5	10.6	786	4.8	3.3	4.0	1.265
12	90.5	△ 15.7	168.0	△ 9.3	168.0	2.3	793	4.0	3.1	3.4	1.252
2020.1	77.7	△ 7.3	87.0	1.8	152.8	4.4	780	3.8	3.6	3.6	1.248
2	80.4	△ 9.9	83.2	0.4	162.0	9.3	677	5.5	3.4	4.3	1.241
3	83.8	△ 13.3	85.5	△ 3.8	115.0	△ 40.9	701	△ 16.1	1.9	2.5	1.239
4	77.7	△ 17.9	86.2	2.1	47.2	△ 78.0	414	△ 49.9	2.5	3.1	1.229
5	66.9	△ 22.0	83.7	△ 2.1	32.4	△ 87.2	351	△ 61.8	4.1	4.0	1.221
6	63.5	△ 22.9	123.7	0.8	68.4	△ 63.0	524	△ 22.8	4.7	4.5	1.213
7							606	△ 20.4			
資料出所	徳島県統計データ課				国土交通省		本州四国連絡高速道路		日本銀行		

(注) 所定外労働時間、現金給与総額は、5人以上の事業所。
 (注) 延べ宿泊者数は、2018.12までは確定値、2019.1以降は第2次速報値。
 (注) 本州四国連絡道路交通量は年度。
 (注) 実質預金(資金化していない手形、小切手等を差引いたもの)・貸出残高は、国内銀行(ゆうちょ銀行除く)・信金ベース。
 (注) 実質預金、貸出残高及び貸出約定平均金利は、年・月末。
 (注) 貸出約定平均金利は、国内銀行(ゆうちょ銀行除く)の県内店舗における貸出金利を貸出金残高(末残)で加重平均したもの。

摘要 年月	手形交換状況						企業倒産			信用保証協会代位弁済		
	手形交換高			不渡手形								
	枚数	金額	前年比	枚数	金額	前年比	件数	金額	前年比	件数	金額	前年比
千枚	百万円	%	枚	百万円	%	件	百万円	%	件	百万円	%	
2015年	356	368,609	△ 10.6	178	156	△ 42.5	45	11,109	131.6	195	1,751	△ 8.3
2016年	333	342,429	△ 7.1	163	92	△ 41.0	32	4,972	△ 55.2	212	1,685	△ 3.8
2017年	307	309,479	△ 9.6	193	143	56.0	34	5,789	16.4	231	2,293	36.1
2018年	281	287,748	△ 7.0	129	120	△ 16.2	33	4,491	△ 22.4	185	1,493	△ 34.9
2019年	279	284,098	△ 1.3	138	101	△ 16.0	43	6,402	42.6	232	1,996	33.7
2019.4	21	22,740	△ 6.1	45	24	—	8	1,215	715.4	33	366	△ 3.2
5	28	29,688	△ 9.4	36	19	98.7	4	123	△ 28.9	27	355	64.9
6	18	17,148	△ 7.7	18	20	1,523.1	2	341	424.6	41	256	24.8
7	27	31,083	1.9	21	38	4,754.5	1	27	△ 89.4	24	129	208.0
8	17	16,427	△ 30.8	9	61	375.5	2	70	△ 30.0	11	125	△ 15.1
9	24	27,607	67.9	3	23	124.0	5	535	3,466.7	10	53	△ 71.0
10	22	21,282	△ 24.2	10	26	58.6	2	130	△ 88.8	12	95	142.4
11	16	13,843	△ 35.6	4	7	△ 64.9	3	455	550.0	16	128	208.4
12	22	21,942	26.8	52	59	1,571.3	5	878	970.7	15	58	115.7
2020.1	24	26,598	△ 5.0	47	57	387.6	4	577	3.2	26	254	303.9
2	16	15,895	△ 32.6	27	15	△ 10.1	2	320	△ 69.4	16	175	15.9
3	24	27,423	51.6	43	39	7.6	11	3,057	198.8	1	2	△ 50.2
4	19	22,168	△ 2.5	43	45	86.7	5	240	△ 80.2	53	457	24.8
5	15	14,958	△ 49.6	12	4	△ 78.3	4	1,360	1,005.7	44	448	26.0
6	23	27,158	58.4	22	41	106.4	9	2,772	712.9	48	575	124.5
7	19	21,069	△ 32.2	5	20	△ 47.5	3	426	1,477.8	10	112	△ 13.1
資料出所	徳島県銀行協会						東京商工リサーチ			徳島県信用保証協会		

(注) 保証協会代位弁済は年度。